

民主党が政権をとれば

〜森と里から日本を元気にします〜

● 10年後日本の木材自給率を50%にします

20%に落ちた自給率を50% (5000万³の生産)

1967年過去最大生産量5274万³
(潜在生産力あり)
毎年8000万～1億³が成長
(半分伐採しても大丈夫)
ドイツも同じ1000万haの人工林で
5000万³を生産
需要量は1億³前後で減少傾向

● ふる里で100万人雇用を創出します

明治以降の「向都離村(村を離れて都市に向かう)」から
21世紀は「向村離都(都市から村に戻る)」へ
10年後に3倍に増える国産材をもとに
林業関連産業を活性化

(緑の雇用・製材業・建設業・観光業)

50年に一度の
ビジネスチャンス
を生かす!!

● 林業・木材産業・住宅産業で活性化します

木材関連産業全体で現在の2倍の経済成長に
合版技術の向上で間伐材の利用が可能に
国産材の安定供給で一大産業クラスター
化が可能

地域間格差是正の
起爆剤に!



お問い合わせは、民主党農林漁業再生本部「森林・林業再生プロジェクト」事務局または



民主党



民主党

森と里の再生プラン

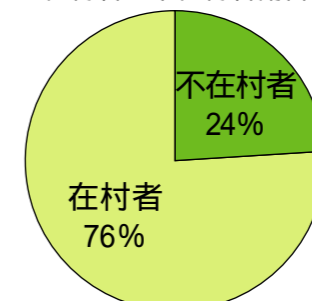
自民政権下で

荒廃した日本の林業・山村

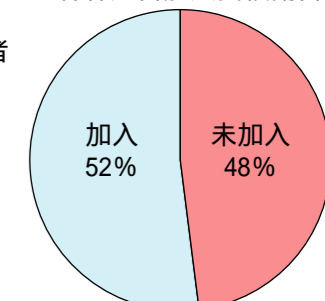


● ふえる放置林(農業の不耕作地と同じ)

私有林面積の
在村者・不在村者割合



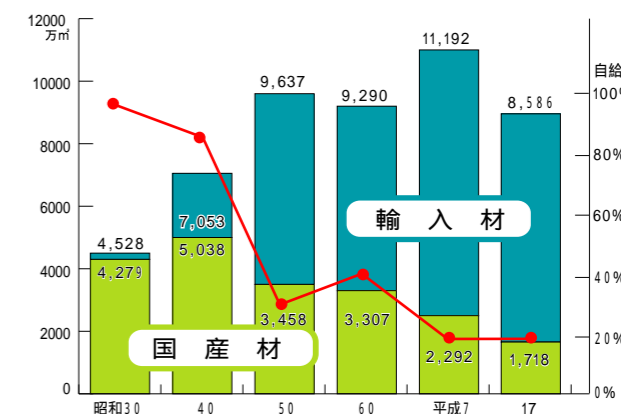
不在村者の
森林組合加入面積割合



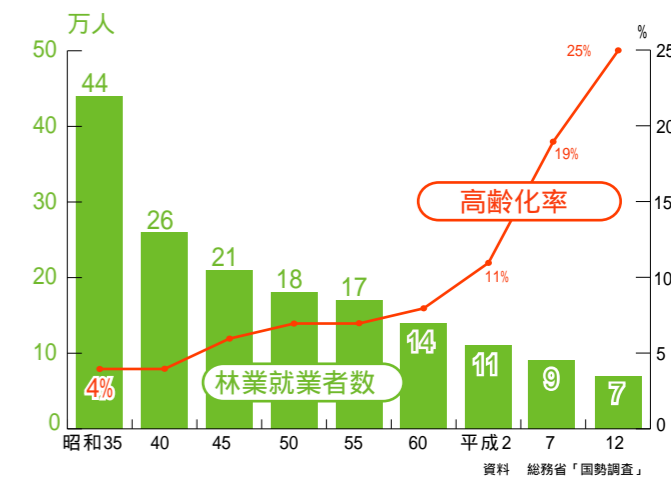
所有者不明もあり、間伐は必要量の三分の一にすぎず
あまりの低価格化に管理の意欲も所有の意欲も低い。

● 下がり続ける木材自給率・20%に

木材の供給量の推移



● 林業就業者の著しい減少と高齢化



資料 総務省「国勢調査」